

郷土の未来を拓く！

第10回小郡ジュニア歴史博士受賞者決定！

問 埋蔵文化財調査センター ☎75-7555

小郡市の歴史や文化を調べることを通して、子どもたちのふるさと小郡への誇りや愛着を育む「小郡ジュニア歴史博士」。

10回目を迎えた今年度は、441点の応募があり、大賞2点、市長賞1点、優秀賞4点、佳作14点、奨励賞22点が決まりました。

全受賞者の氏名・作品名は、埋蔵文化財調査センターホームページに掲載しています。



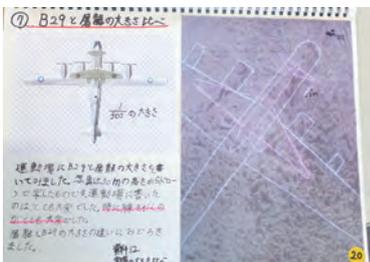
「小郡にB29が落ちた！」

やまもと かなた
山本輝航さん(小郡小6年)

小学校の「大刀洗空襲」の学習で、B29爆撃機が小郡に墜落したことに興味を持ち、文献や当時の新聞など多くの資料にあたりました。また、それに加えて当時の様子を知る人に聞き取りをしたり、飛行機の大きさを比べたりするなど、独自の方法で自分の考えをまとめ考察した点が高く評価されました。



【作品の一部】



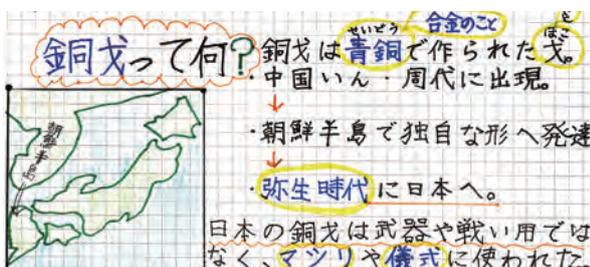
「銅戈と小郡」

むたせな
牟田惺菜さん(大原小4年)

夏休みにミニ銅戈づくりを体験したことで興味・関心を持ち、いつの時代に何に使ったものなのか、小郡とどんな関係があるのかを調べた作品です。銅戈がつけられた弥生時代の小郡のことや、実際にミニ銅戈を作ったことを写真やイラストを使って、項目ごとに分かりやすくまとめました。



【作品の一部】





「『初七夕』をどのくらいの人知っているか(にん知率)について」

夏秋結弥さん(のぞみが丘小4年)、夏秋貴弥さん(のぞみが丘小2年)



「初七夕」の風習を友達が知らなかったことから、このままではこの風習がなくなってしまうのではないかと考えたことが研究の動機です。街頭でアンケートを取った手法がユニークであり、調査結果から見出した2人の結論は貴重な意見であるため、市長賞に選ばれました。

【作品の一部】

【表：質問ごとの集計】

【出身】小郡市内21人、筑後地域14人、その他の地域39人。

【年齢】10代以下4人、20代11人、30代13人、40代15人、50代11人、60代以上20人。

【質問1】「初七夕をしたことがありますか？」

はい、29人。いいえ、45人。

【質問2】「初七夕という風習を知っていますか？」

はい、39人。いいえ、35人。

【質問3】「初七夕をどうやって知りましたか？複数を選択できます。」

経験したことがある24人、家族や知人から聞いた18人、インターネット、テレビ、資料などで見た3人、その他2人。

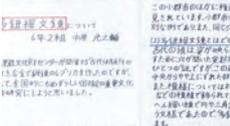


「国指定重要文化財 多鈕細文鏡について」

中原光之輔さん(東野小6年)



夏休みにミニ銅鏡づくりを体験したことで多鈕細文鏡に興味・関心を持ち、見つけた時の様子や、その貴重さについて、埋蔵文化財調査センターなどで調べたことをまとめました。



「ぼくの身近に江戸時代」

平嶋和貴さん(三国小4年)



散歩でよく行っていた丘の上にある小さな祠に関心を持ち、写真や資料を使い分かりやすくまとめました。現地に足を運び、地域の方々に聞き取り調査をした探求心が高く評価されました。

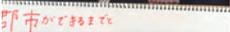


「小郡市ができるまでとできてから！」

佐々木太吾さん(三国中1年)



小郡市が市制施行50周年を迎えたことを知って、小郡村がつくられてから市制施行するまでと、小郡市になってからの歴史を、写真や年表を効果的に使ってまとめました。



「神様たちの夏祭り 夜渡」

進村亜希子さん(三国小6年)



3年ぶりに開催された地域の神社の夏祭りに参加したことがきっかけで、神社の由来や夜渡という祭りに関心を持ち、聞き取りをしたり、同名の神社に行って調べたりしました。